


# こくりこ日記

高田昭子のb2evolution blogです

## アーカイブ: 2007年12月

### 2007/12/31

🕒 02:36:40, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 578 

#### 詩の歳時記ー67



除夜の妻白鳥のごと湯浴みをり 森澄雄

白鳥にうまれ変わることを夢みて  
一心にからだを雪ぎます  
まぼろしの翼がかすかにゆれる  
静かな夜更け たちのぼる温い湯気  
やさしい湯音が絶え間なく流れます

• [編集](#)

### 2007/12/30

🕒 14:10:41, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 546 

#### 詩の歳時記ー66

## こくりこ日記

高田昭子のb2evolution blog  
[吸殻山383番地の家に戻る。](#)  
[中央1番地に戻る。](#)

- [最新](#) (キャッシュ)
- [最新](#) (キャッシュされない)

#### 2007年12月

日	月	火	水	木
2	<a href="#">3</a>	4	<a href="#">5</a>	6
<a href="#">9</a>	10	<a href="#">11</a>	12	<a href="#">13</a>
16	<a href="#">17</a>	18	<a href="#">19</a>	20
<a href="#">23</a>	24	<a href="#">25</a>	26	27
<a href="#">30</a>	<a href="#">31</a>			
<<	<			

- [最近のコメント](#)

## Heavy Hitters

- [Test](#) (20 visits)
- [Walking1日目。](#) (20 visits)
- [詩の歳時記ー56](#) (20 visits)
- [引用文ー23・あきらめ](#)
- [詩の歳時記ー117](#) (19 visits)
- [詩の歳時記ー82](#) (19 visits)
- [花守](#) (19 visits)
- [かぼちゃんー一日](#) (19 visits)
- [詩の歳時記ー305](#) 「夕」 (visits)
- [詩の歳時記ー274](#) 「あ」 (visits)
- [詩の歳時記ー253](#) 「柳」 (visits)
- [詩の歳時記ー123](#) 「桜」

## 検索

- ☒ 全ての語
- ☐ いずれかの語



永遠の待合室や冬の雨 高野ツトム

わたくしにゆるされた地上の時間は  
今はどのあたりでしょうか  
夜更けの駅で  
冬の雨に洗われた列車を待ちながら  
ふたたびあなたに逢える日を想ふ

• [編集](#)



## 2007/12/28

🕒 14:28:54, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 871 🇯🇵

詩の歳時記ー65



(Photo by hiroe)

人の世に棲みふくろうの直ぐ眠る 滝沢文枝

🔍 フレーズ

[検索](#)

カテゴリ

- [All](#)
- [百人百詩](#) (100)
- [詩の歳時記](#) (365)
- [詩日記](#) (20)
- [My Haiku](#) (49)
- [Walking](#) (13)
- [引用文](#) (31)
- [日記](#) (163)

[選択](#)

アーカイブ

- [2015年11月](#) (1)
- [2015年7月](#) (1)
- [2015年5月](#) (2)
- [2015年3月](#) (3)
- [2015年2月](#) (2)
- [2015年1月](#) (3)
- [2014年12月](#) (2)
- [2014年11月](#) (2)
- [2014年10月](#) (3)
- [2014年9月](#) (2)
- [2014年8月](#) (2)
- [2014年7月](#) (2)
- [続き...](#)

いろいろ

- [管理](#)
- [プロフィール \(admin\)](#)
- [ログアウト \(admin\)](#)

このブログの配信 [XM](#)

- RSS 0.92: [投稿](#), [コメン](#)
- RSS 1.0: [投稿](#), [コメント](#)
- RSS 2.0: [投稿](#), [コメント](#)

森のドクターの処方箋  
不眠症のふくろうとわたくしは  
やがて眠りにおちました  
妖精たちのささやき  
舞いおちる枯葉の毛布

[4 コメント](#)・[編集](#)



■ Atom: [投稿](#), [コメント](#)

[What is RSS?](#)

powered by  
**b2evolution**

---

## 2007/12/25

---

🕒 20:39:46, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 654

詩の歳時記ー64



刻かけて海を来る闇クリスマス

藤田湘子

やわらかな闇をくぐりぬけて  
夜に生まれし吾子よ  
世界は明るんでいましたか  
あなたはふたたび訪れる闇に  
震えながら産声をあげていました。

・[編集](#)





## 2007/12/23

---

🕒 22:02:09, カテゴリ: 詩の歳時記, views: 678 🇯🇵

### 詩の歳時記ー63



(Photo by hiroe)

雪に来て美事な鳥のだまり居る          原 石鼎

雪の重さを載せ  
やませみの重みをさらに載せる  
裸木のやさしい腕よ  
雪色になれない小さな鳥よ  
ひとは言葉をさがしだせない。

• [編集](#)



## 2007/12/21

---

🕒 15:19:57, カテゴリ: 詩の歳時記, views: 959 🇯🇵

### 詩の歳時記ー62



(Photo by hiroe)

ふくろうはふくろうで わたしはわたしで ねむれない 種田山頭火

黄昏とともにようやく飛び始める  
ヘーゲルさんのミネルヴァのふくろうと  
眠れない放浪の乞食俳人は  
わたくしの浅い眠りのなか  
束の間の夢のなかですれちがった。

[2 コメント](#)・[編集](#)



## 2007/12/19

🕒 17:01:05, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 545

詩の歳時記ー61



冬となる風音夜の子にきかす      古沢太穂

おやすみ  
やわらかな闇は  
寒さからあなたを守ります。  
風の音が聴こえますか。  
いいえ。あれは風の子守歌です。

• [編集](#)



---

## 2007/12/17

---

🕒 18:33:43, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 820

詩の歳時記—60



(Photo by hiroe)

梟をみにゆき一人帰り来ず                      宇多喜代子

五人は森のふくろうに会いに行き  
帰り道では四人になりました。  
誰も気付かない。  
五郎助ほうほう  
森はどこまでもひろがってゆく。

[4 コメント](#)・[編集](#)



---

## 2007/12/15

---

📅 17:10:17, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 591 🇯🇵

詩の歳時記—59





戯曲よむ冬夜の食器浸けしまま 杉田久女

一日は終わったのだろうか  
この日常が戯曲か  
あのひとときが戯曲なのか  
ヒロイン不在のままに  
今日と明日とがひっそりと暗転する

• [編集](#)



---

## 2007/12/13

---

🕒 11:52:47, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 669 🇯🇵

詩の歳時記ー58





(Photo by Denden)

岩へ散り紅葉のなほも日を透かす

八木絵馬

山寺への石段にもみじ散りやまず  
幻の幼子の紅い掌の痕が  
鮮やかに埋め尽くしている  
死者たちの眠るところまで  
幼子たちのかそけし笑い声に満たされて

・[編集](#)



---

## 2007/12/11

---

🕒 15:42:36, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 610 🇯🇵

詩の歳時記—57



山影を日暮とおもひ浮寝鳥

鷹羽狩行

眠っているのか  
放心しているのか  
かすかな水紋を描きつつ  
浮寝鳥はうつむいている  
山影にさしかかり 時間は自問する

• [編集](#)



## 2007/12/09

🕒 16:46:54, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 666 🇯🇵

### 詩の歳時記一56



文鎮のかはりの蜜柑大宇宙

磯貝碧蹄館

みかんの皮のなかの十二個のふくろ  
十二個のふくろのなかには無数のふくろ  
したたる水の宇宙はとても重い  
文鎮に化けていても不思議ではないわね。  
わたくしはあぶり出しの文字を書いてみませうか？

• [編集](#)



## 2007/12/07

🕒 13:54:59, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 849 🇯🇵

### 詩の歳時記一55



裸木よ今夜も星星は誤植だ 夏石番矢

世界が一冊の書物であったなら  
わたくしたちのいのちの在りようは  
うつくしい誤植でありましょう  
樹々がすっかり葉を落として夜空が広くなる  
愛する死者の住処はどの星か

[4 コメント](#)・[編集](#)



---

## 2007/12/05

🕒 19:59:23, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 666 🇯🇵

詩の歳時記—54



(Photo by Denden)



たましいのひとつが透けて冬紅葉

津根元潮

冬の夜の闇のなかで  
わたくしは眼を閉じているはずです。  
その深い暗がりに燃えているもみじは  
夢でしょうか？  
「たましい」と名付けるには戸惑うもの。

[• 編集](#)

## 2007/12/03

🕒 17:05:01, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 553

### 詩の歳時記—53



銀杏散る語ることなしあるような

高田昭子

黄葉の暦のわずかなずれ  
あなたとわたくしの住む町の距離や高度  
時計の長針と短針がかすかに揺れながら  
上と下を指すあたりから  
「おやすみなさい」まで語りあう。

[• 編集](#)

## 2007/12/01

🕒 17:01:58, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 597

### 詩の歳時記—52



(Photo by KIRI)

山茶花の一とたび凍てて咲きし花

細見綾子

あなたは なぜ  
この凍てる季節を選んだのですか？  
咲いては散り  
咲いても散って  
根方は赤い池となる

• [編集](#)



Original template design by [François PLANQUE](#).

